

日本ボイラー協会東京支部 図書のご案内



★2級ボイラー技士免許試験は、「ボイラーの構造」10問、「ボイラーの取扱い」10問、「燃料及び燃焼」10問、「関係法令」10問 計40問出題され、400点満点で各科目の平均が60点以上(合計点数が240点以上)が合格となりますが、40点未満の科目が1科目でもあれば不合格となります。

これからご紹介する、下記の参考書は
東京支部事務室(2階)にて販売しております。ぜひご利用ください。

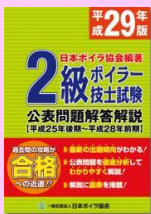


『新版 最短合格 2級ボイラー技士試験』2,700円(本体2,500円+税)



ボイラー専門団体のノウハウが詰め込まれた、最短合格をめざす受験対策に特化した受験本の決定版です。過去の2級ボイラー技士免許試験で実際に出題された「構造」「取扱い」「燃料および燃焼」「関係法令」の各科目の公表問題を徹底的に分析し、オリジナルの多数のイラストを掲載し丁寧な解説をした一冊です。試験科目の「ボイラーの構造」「ボイラーの取扱い」「燃料及び燃焼」「関係法令」の全科目をカバーしています。

『2級ボイラー技士試験公表問題解答解説』2019年版2,160円(本体2,000円+税)



いわゆる「過去問」です。関東安全衛生技術センターでは、2級ボイラー技士免許試験が年17回程度行われ、前期(1~6月)実施回のうち任意の1回分、後期(7~12月)実施回のうち任意の1回分、計年2回分の試験問題を公表しています。この公表問題に解答とていねいな解説を付けたのが本書です。平成27年後期から平成30年前期までの6回分一冊にまとめ、従来の単問より大変お得な問題集です。

新版 わかりやすいボイラー及び圧力容器安全規則』1,350円(本体1,250円+税)



試験科目のうち、「関係法令」をカバーし、難しい法令をわかりやすく解説しています。技術問題で良い点を取っても、法令問題で40点以上取れない場合、不合格になることを考えれば、法令の参考書は受験の必読書といえます。また、本書は一級ボイラー技士免許試験にも対応していますので、一冊で二度おいしい参考書です。